

## 第24回番組審議会 審議議事録

1. 開催日 平成30年10月29日(月) 18時～19時
2. 開催場所 タス 3F 併 (山形県長井市館町北 6-27)
3. 委員出席 委員総数 : 6名  
欠席委員 : 2名  
出席委員 : 番組審議会会長 勝見英一郎  
番組審議会副会長 齋藤 喜内  
番組審議委員 塚田 弘一  
番組審議委員 寺嶋 宏武  
放送事業者側出席 黒澤 栄 (代表取締役)  
高石 仁光

### 4. 議題

- (1) 代表者挨拶
- (2) 御審議
- (3) その他

### 5. 議事の概要

- (1) 開会
- (2) 御審議

#### ①番組の適正について

対象番組：大正大学地域創生学部の「ど～もっし！長井」  
生放送ひるらじ 内の期間限定コーナー

日時：2018年10月23日(火) 13:30～14:00

#### ②質疑応答

#### ③その他

#### ④閉会

## 6. 審議内容

### ①質疑応答

(塚田委員) 5段階評価：3.5

- ・言葉が聞き取りにくいところがあった。一般的に1分間で300字が目安と言われているので、もう少しゆっくり喋った方が良い。
- ・一生懸命やっている感じは伝わってくるが、何を伝えたいのか客観的な事実と主観的な体験のイメージが乏しいと感じた。
- ・学生が何を学んで、それを将来どう役立てたいのかが伝わらなかった。

(寺嶋委員) 5段階評価：3

- ・大学1年生ということもあり致し方ないと思うが、全体的に内容が薄いと感じた。
- ・長井に1ヶ月滞在して「もっとこうしたら良くなるのでは」等の提案があれば良かった。パーソナリティが話を誘導する場面があればもっと良かった。
- ・長井の魅力が「食べ物いっぱい」だけで終わるのは残念だった。
- ・なぜこの曲を選んだのか等の選曲の理由の紹介もあれば良かった。

(齋藤副会長) 5段階評価：3.5

- ・活動報告の内容としては漠然とした内容。「長井の人が良かった、食べ物がおいしかった」だけではなく、地域創生学部部の学生として何を学んだかを発表してほしい。
- ・新しい試みだと感じた。自分達の体験を通して発表する場はとても貴重だと思う。
- ・パーソナリティが学生の話を引き出したり、話をまとめたりしながら進めてもらえたら、もっと聴きやすくなるのでは。
- ・パーソナリティも成長していると感じるが、聴く方も耳が肥えてきている。今後もっと求められる要求が高くなると思うので研鑽を重ねてほしい。

(勝見会長) 5段階評価：パーソナリティ4 学生3

- ・内容は活動報告ではなく、体験報告だと感じた。4週間滞在して何をしてきたのかが伝わってこない。大学生の研究に値することを学んできたのか疑問が残った。
- ・大学のカリキュラムとしてラジオ出演があるのであれば、学生自身が事前に勉強したり調べたりするのは当たり前だが、その部分が不十分に感じた。受け手(ラジオ局側)としてはこれが限界なのでは。大学のスタッフを入れて一緒に番組を作ることで、大学側がさせたいことと学生が体験したことが番組として生きてくるのではと感じた。

(高石)

- ・学生の滞在中の活動が農業体験なので、さまざま体験や発見が乏しく内容として深みが

足りなかった。もっと活動範囲を広げて長井の良さを体験できるようになれるように手助けしていきたい。

・2月に行われるビジネスチャレンジコンテストに今回の体験をアイデアにした発表を行う予定なので、ぜひ注目してほしい。

(黒澤)

・頂いた意見は、大学側にもフィードバックして、より良い番組を作れるようにしていきたい。

### ③その他

(齋藤副会長)

防災ラジオの警報等の放送はあったのか。

(高石)

緊急警報の放送は無かった。10月1日の防災訓練は、台風のため、中止となり、その訓練中止の放送のみあった。注意報警報は、局側で自発的に放送している。台風が近い場合には、1時間に1回、自発的に割り込み放送を行っている。

(齋藤副会長)

火災発生だけでなく鎮火まで放送しているのか。

(高石)

鎮火確認まで放送している。

#### 7. 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・特になし

#### 8. 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：平成30年10月31日（水）

#### 9. その他の事項

次回の放送番組審議会日程について

- ・平成30年11月は休会とする。
- ・第25回放送番組審議会 平成30年12月17日（月）  
開場 未定